研究Ⅰ（2学期）

実施日時　　毎週木曜日7限目

内　容　　2学期の主な活動です。今年は昨年までの活動を大きく変更し、研究力の土台作りのために新たな活動を盛り込みました。また、各講座の担当者を固定し、生徒をローテーションさせることで、省力化と内容の深化を図りました。

ミニ課題研究

日常生活で起こる現象（熱湯を入れたコップを机に置くと水滴がつくこと）から問いを見いだし、生徒が自由な活動の中で仮説を立て、検証する方法を考え、実験して情報を整理・分析しました。課題研究における課題設定、情報収集、整理・分析を一連の流れとして体験する活動と位置づけました。

質問力を高めよう

1時間目は、班毎のゲームを通して気軽に質問するための「瞬発力」を鍛え、さらに「良い質問とは？」について考えました。2時間目は、研究発表の映像などを視聴しながら、よりレベルの高い質問を個人や班で考えました。

データの分析

新聞やテレビなどで伝えられるデータやその見方は本当に正しいのか、またこれまで数学で学んできた「確率」とはどのようなものなのか。次年度の課題研究に向けて、「やや文系寄り」「やや理系寄り」の2つの内容を展開し、統計的なものの見方の必要性を実感する場を設けました。

生徒の感想より

・答えが全く分からない中で話し合いながら考えていく授業は、初めての体験で面白かった。
・それぞれ持っている知識が違い、分析する視点も違うので、グループ活動はおもしろいと感じた。
・手順が決まっていないからこそ大胆な発想が役に立つので、発想は真実を求めるうえで一番大切なことだと学んだ。